



『冬の森の観察会』 出前教室in若松小学校

2月8日（月）若松小学校で「冬の森の観察会（動物の痕跡をたずねて）」と題して出前教室が行われました。

NPO法人EnVisionの職員を講師に迎え、山に住む動物の足跡等やフンを見つけてその動物が何かを勉強したり、山の中でかくれんぼをして、動物の気持ちや生態を直に学ぶことができました。

かくれんぼでは児童11名の内、3名がキツネ（鬼）役、白いシートをもった残り8名の児童がウサギ役になり雪山の中に隠れました。

子ども達は、楽しい遊びの中で、ウサギは冬になると毛が白くなって外敵から見つかりにくくなることなどを学びました。

『地元の美味しさ』 味わってみませんか？

1月23日（土）女性ふれあいセンター（北檜山区）において、「女性ふれあい消費者交流会」が開かれました。

これは「めんこい豆クラブ」「ふぁーみんぐCOWSUN'S」など8団体でつくる「北檜山区女性ふれあいグループ連絡協議会」主催によるもので、当日は一般の消費者も含み70名もの参加がありました。

会場内の各テーブルには、地元農畜産物を使った手作り料理が並び、「美味しい」という声があちらこちらから聞こえていました。



町民ゲートボール大会

2月12日（金）町民体育館でせたな町民ゲートボール大会が開催されました。

今回のこの大会は、「北檜山ゲートボール愛好会」会員の中野栄次郎さんの白寿（99歳）をお祝いした記念大会も兼ねており、競技の前には、ゲートボール協会より中野さんにお祝いの品が贈られました。

あちらこちらで、お互いのプレーを称える歓声があがり、皆さん楽しい時間を過ごされていました。



初午大漁祈願祭

2月1日（月）北檜山区新成地区で、1年間の豊漁と海上安全を祈願して「初午大漁祈願祭」が行われました。

この「初午（はつうま）」は、天保年間の1810年頃から始まったもので、「おしとぎ」と呼ばれる白い汁を顔に塗るのが伝統となっています。

当日は、約40人も参加があり、心づくしのお料理で祝宴が始まり「おしとぎ」を顔に塗られると、お互いの白くなった顔を見合わせて大笑い。会場は最後まで笑いでいっぱいでした。

北海道交通安全推進委員会会長表彰受賞

交通安全指導員、曾野紀明さん（北檜山区丹羽）、藤澤 明さん（北檜山区太櫓）、能戸 博さん（瀬棚区本町）が「北海道交通安全推進委員会会長表彰」を受賞され、2月17日（水）せたな町役場において、高橋貞光町長より伝達されました。

受賞された皆さんは、平成16年より5年間、交通安全指導員として地域住民の交通事故防止と交通安全意識の高揚に多大に寄与され、現在も活躍中です。



能戸 博さん 藤澤 明さん 曾野紀明さん



2010 SETANA-CUP雪合戦大会開催

1月31日（日）、2010 SETANA-CUP雪合戦大会（実行委員会主催）が北檜山スポーツ公園で開催されました。第22回昭和山国際雪合戦の渡島檜山予選会も兼ねた公式な大会で、地元のほか函館、八雲、上ノ国から8チームが出場。今年は初めて「小学生の部」も開催され、町内の小学生3チームが出場し大人顔負けの熱戦を繰り広げてくれました。

「一般の部」上位3チームが2月27～28日開催の胆振管内壮瞥町で開かれる本大会に出場することになりました。

（一般の部） ●優勝／せたな町役場 S F C ●準優勝／小崎食料品店運動部 ●第3位／せたなレスキュー

（小学生の部） ●優勝／北檜山ラウドネス ●準優勝／北檜山サッカー少年団 ●第3位／チーム太櫓

